

言葉に出会うために 野原はうたう 工藤直子

資料画像 2 枚

★目標★

- ① 詩の中で使われている表現技法を使えるようになる
- ② 詩の内容を確認しよう

◇本時の課題◇ 表現技法を確認し、自分の考えを書いてみよう

Step 1

教科書 P 14～17 を見ながら、ノートを作る。

- ① 前回のプリント課題「野原はうたう」を思い出しながら資料を読む。
- ② 資料の内容をそのままノートに書き写す。
※字はていねいに書く
※黒の部分は鉛筆かシャープペン、赤の部分は赤のペンで書く
※線を書くときは定規を使って書く

Step 2

ノートの□を教科書や例をみながらやる。

- ① それぞれの表現技法を使った表現を自分なりに作る。
※答えは次回更新時に提示予定

Step 3

教科書を見ながら、ワーク（「国語の学習 1」）を解く。

- ① P 6～9 を解く
※直接書き込むか、ノートにやる。ノートの場合は問題番号と答えがわかるように書く
- ② 解き終わったら答え合わせをする。間違えたものは正しい答えを赤ペンで書く。

野原はうたう

工藤直子

☆目標☆

- ① 詩の中で使われている表現技法を使えるようにしよう。
- ② 詩の内容を確認しよう。

① 詩で使われている表現技法を確認しよう。

へ表現技法とは

↓物事の様子や人物の気持ちを表すときの表現を工夫することでより印象深く伝えるもの

- ① 擬人法 ミ人間でないものを人間にたとえて表す方法。
- ② 倒置法 ミ普通の言い方と言葉の順序を入れかえる方法。
- ③ 反復法 ミ同じ言葉をくり返す方法。
- ④ 対句 ミ言葉の形や意味が対応するように並べる方法。

① ② ③ ④の表現技法を使った表現を

考えて書いてみよう。

- ① 擬人法 例…ひかりをおでこにくっつけて

② 倒置法 例…とんでいこう どこまでも

③ 反復法 例…だからわしは いつまでも だからわしは いつまでも

④ 対句 例…おう なつたぜ おれはけんまはるぜ
おう あついで おれはかんはるぜ

チェック
② 野原はうたうは動植物を人間にたとえ自然の中に生きる生物たちを生き生きと表現した詩がある。